

- 問1 663年、日本軍が唐・新羅の連合軍に敗れ、百済の復興に失敗した戦いを何という？
- 問2 大津宮への遷都などを通じて基礎が築かれた、天皇中心の法に基づく国家を何という？
- 問3 唐や新羅からの侵攻に備えて、九州北部の防衛のために配置された兵士を何という？
- 問4 大津宮で政治を行った天智天皇が作成した、日本で最初の全国的な戸籍を何という？
- 問5 663年、日本が朝鮮半島での拠点を維持するために兵を送り、唐・新羅連合軍と戦った国を何という？
- 問6 聖徳太子が、家柄にこだわらず才能や功績のある人物を役人に登用するために定めた制度を何という？
- 問7 白村江の戦いのあと、日本に亡命してきた人々など、大陸から高い技術をもたらした人々を何という？
- 問8 壬申の乱で敗れた大友皇子の父であり、大津宮へ遷都した天皇は誰？
- 問9 白村江の戦いのあと、九州の防衛や外交の拠点として置かれた役所を何という？
- 問10 壬申の乱で大友皇子と皇位を争った、天智天皇の弟は誰？
- 問11 中国の隋や唐の制度を手本として、古代日本で編纂・施行された国家の基本となる制度を何という？
- 問12 聖徳太子が、中国の隋から進んだ政治制度や文化を学ばせるために派遣した人物は誰？
- 問13 聖徳太子が、中国の隋に対して対等な外交関係を求めて送った使節を何という？
- 問14 飛鳥時代に、推古天皇の摂政として仏教を広め、法隆寺などを建立した人物は誰？
- 問15 奈良県の法隆寺などが該当する、飛鳥時代に日本で発展した現存する最古のものは何？
- 問16 7世紀前半に栄えた、日本で最初の本格的な仏教文化を何という？
- 問17 聖徳太子によって建立され、世界最古の木造建築物群として飛鳥文化を象徴する寺院を何という？
- 問18 推古天皇のもとで摂政として登用され、聖徳太子とともに政治を行った有力豪族は誰？
- 問19 推古天皇が才能や功績によって役人を登用するために定めた制度を何という？
- 問20 法隆寺が位置しており、飛鳥文化の中心地でもあった現在の都道府県はどこ？
- 問21 7世紀後半、壬申の乱で勝利し、天皇を中心とした国づくりを強力に進めた天皇は誰？
- 問22 推古天皇の時代、中国へ進んだ制度や文化を学ぶために派遣された使節を何という？
- 問23 十七条憲法において、政治の指針として取り入れられた、インドで生まれ朝鮮半島を経由して伝わった宗教は何？
- 問24 663年に、百済復興を目指した日本軍が唐・新羅の連合軍に大敗した戦いを何という？